



Cisco Nexus Dashboard Insights
のトポロジ、リリース 6.3.1 -
Cisco 用
NDFC

目次

新機能と更新情報.....	2
トポロジについて.....	3
トポロジについて.....	3
Cisco Nexus Dashboard Insights のトポロジ.....	5
著作権.....	9

初版：2023 年 9 月 12 日

最終更新日：2023 年 10 月 23 日

米国本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Drive

San Jose, CA 95134-1706

USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000

800 553-NETS (6387)

Fax : 408 527-0883

新機能と更新情報

次の表は、最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、本リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1. Cisco Nexus Dashboard Insights の新機能と変更された動作

特長	説明	リリース	参照先
再編成されたコンテンツ	このドキュメントの内容は、『Cisco Nexus Dashboard Insights User Guide』で提供されたものです。リリース 6.3.1 以降、このコンテンツはこのドキュメントでのみ提供され、『Cisco Nexus Dashboard Insights User Guide』では提供されなくなりました。	6.3.1	ドキュメント全体

このドキュメントは、Cisco Nexus Dashboard Insights のGUI およびオンラインで www.cisco.com で入手できます。本書の最新バージョンに関しては、「[Cisco Nexus Dashboard Insights](#)」の「[Documentation](#)」を参照してください。

トポロジについて

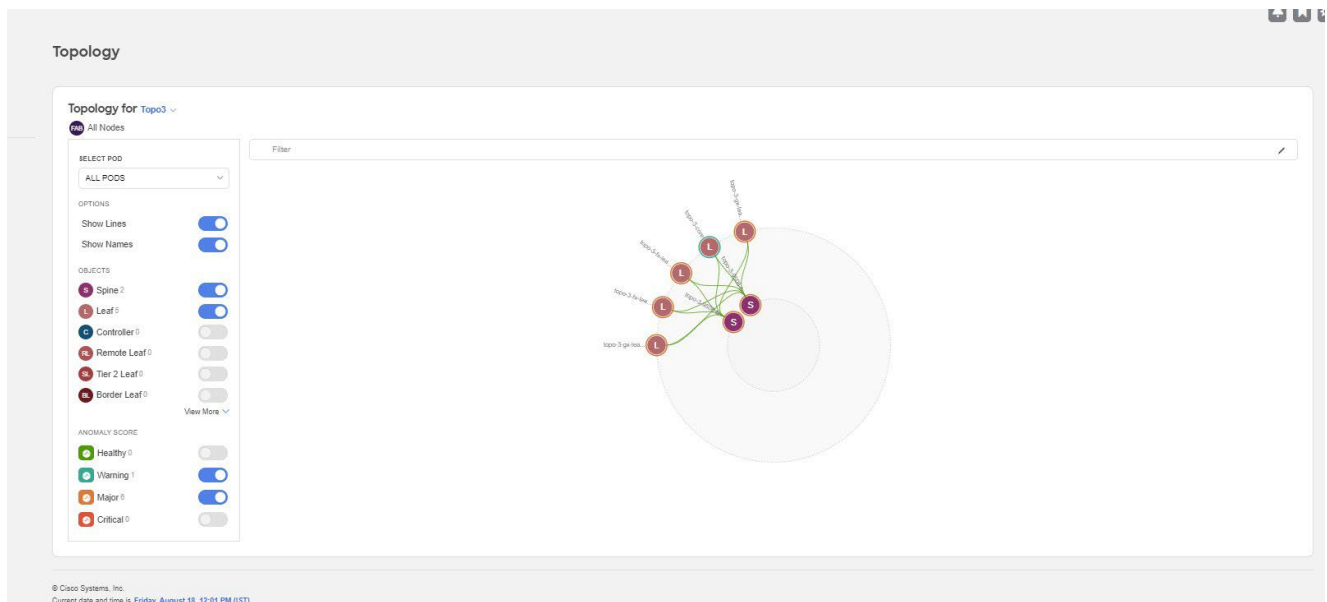
トポロジについて

トポロジには、LLDP および CDP プロトコル情報を使用した、ファブリック内のノードの相互接続が表示されます。トポロジビューは、異常の影響を受けるノードを見つけるのに役立ちます。

[トポロジ (Topology)]には、選択したサイトのすべてのノードと異常レベルが放射状グラフで表示されます。

このページには、ノード、ノードタイプ、リーフノード間の LLDP 情報、IPN、およびリンク上の異常レベルのリストが表示されます。このビューでは、スパインノード、リーフノード、およびボーダーリーフノードを、異なるアバターで区別できます。

IPN リンクは、IPN に接続されたスパインノード リンクであり、内部リーフノードに接続されたリンクとは区別されます。IPNは、トポロジ内の物理エンティティとして表示されます。



[操作 (Operate)]>[トポロジ (Topology)]の順に選択してトポロジにアクセスします。

トポロジ ビューでは、スパインノード、リーフノード、およびコントローラを切り替えて、オブジェクトの追加や削除が行えます。各異常スコアを切り替えて、トポロジビューに追加したり、ビューから削除したりします。

使用可能なさまざまな異常スコアは次のとおりです。

- 警告
- メジャー
- 重大

ズームイン機能を使用して、EPG、VRF、テナントなどの論理構造に基づいてインフラストラクチャの一部に範囲を限定します。トポロジ作業ウィンドウで異常を表示、並べ替え、およびフィルタ処理します。

次のフィルタを使用して、表示されるノードを絞り込むことができます。

- [名前] - 特定の名前を持つノードのみ表示されます。
 - [VRF] - 特定のVRFからのノードのみ表示されま
- す。フィルタの絞り込みには次の演算子を使用しま
- す。

演算子	説明
=	最初のフィルタタイプでこの演算子および後続の値を使用すると、完全一致のデータが返されます。
!=	最初のフィルタタイプ。この演算子および後続の値を使用すると、同じ値を含まないすべてのデータが返されます。
～を含む	最初のフィルタタイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値を含むすべてのデータが返されます。
!contains	最初のフィルタタイプ。この演算子および後続の値を使用すると、その値を含まないすべてのデータが返されます。

異常スコアは、トポロジ内のノードの色で表されます。異なる色は、そのオブジェクトの異常レベルを示します。ここで、

- オレンジは、このオブジェクトが異常レベルメジャー状態であることを示します
- 赤は、このオブジェクトが異常レベルクリティカル状態であることを示します
- 灰色は、このオブジェクトの異常レベルが不明であることを示し

ます。ノードにカーソルを合わせると、次の詳細の概要が表示されま

す。

- ノードのタイプ
- ノードの名前
- 異常レベル
- 接続されているノードの数

トポロジ上のノードをクリックして、ノードの追加の詳細を表示します。使用可能な詳細を理解するには、「[インベントリ](#)」を参照してください。[アクション (Actions)] ボタンをクリックして、インベントリの詳細を表示します。

トポロジの制約事項

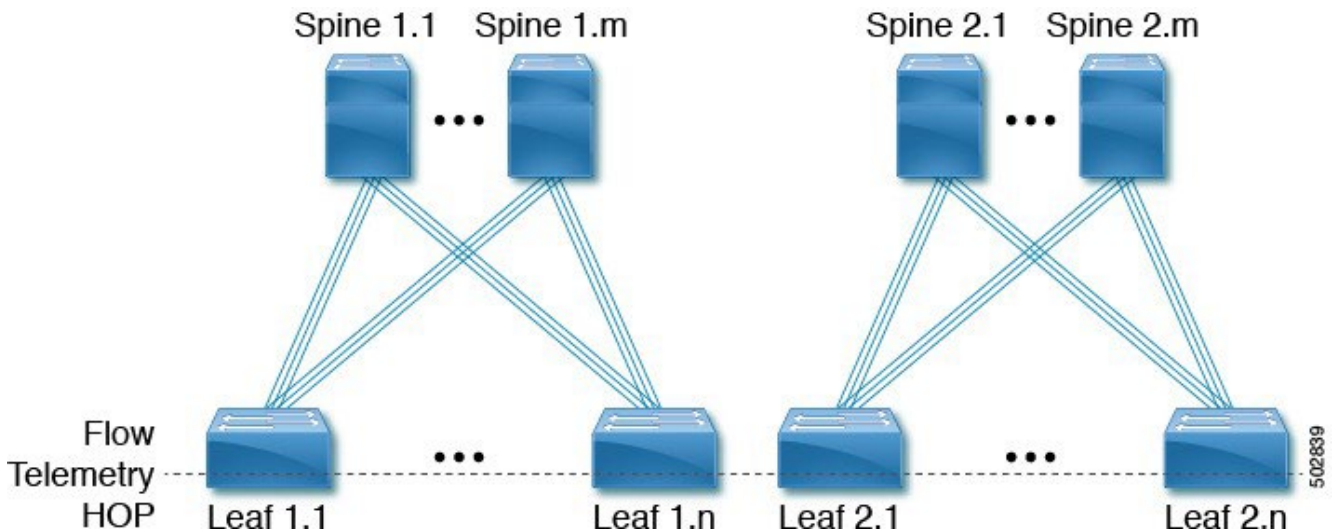
LLDP情報がないノードはトポロジに表示されません。

Cisco Nexus Dashboard Insights のトポロジ

NDFC の Nexus Dashboard Insights は、次のトポロジをサポートします。

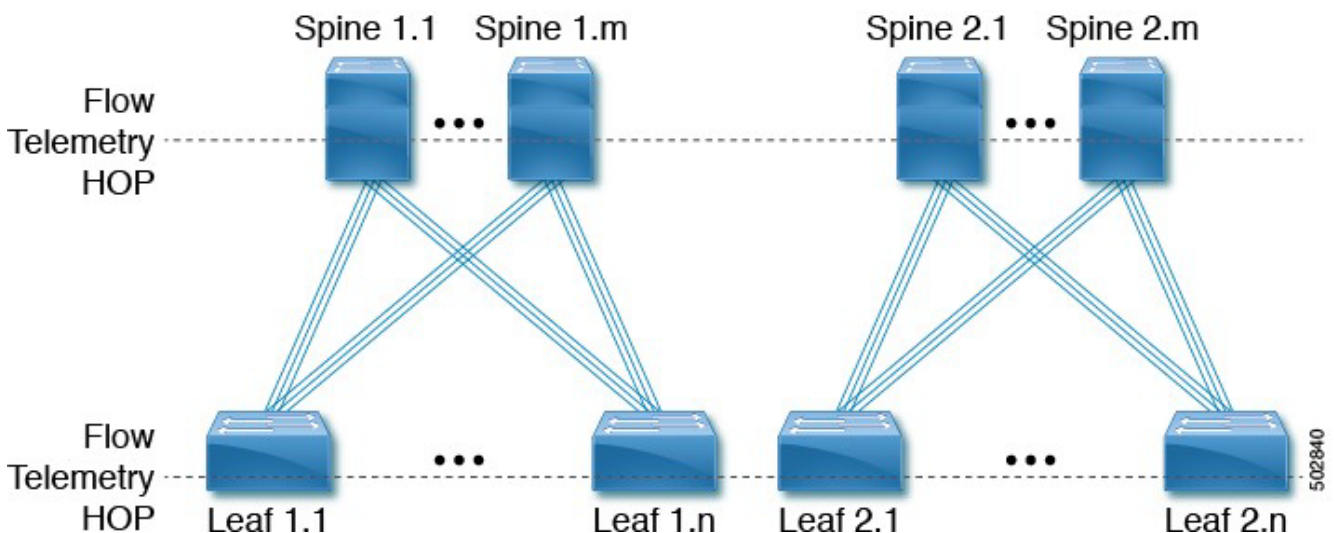
- 2-HOPおよび3-HOPフローテレメトリ相関用のリーフスイッチ - スパインスイッチ。
- 3-HOPおよび4-HOPフローテレメトリ相関用のリーフスイッチ - スパインスイッチ - スーパースパインスイッチ。

次の図は、2-HOPフローテレメトリ相関用のリーフスイッチ - スパインスイッチのトポロジを示しています。



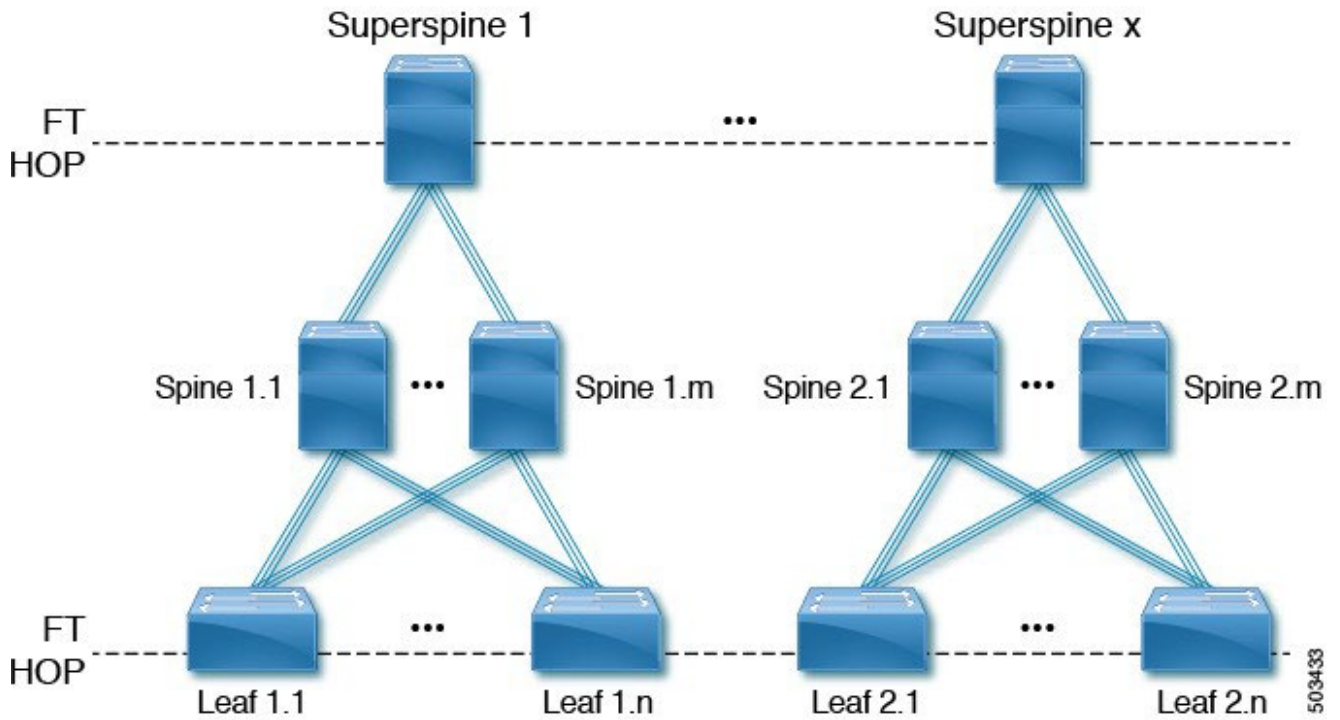
図のすべてのスイッチと交差するフローテレメトリHOPラインは、フローテレメトリデータをエクスポートできるスイッチを表します。例: フローテレメトリHOPラインでは、リーフ1.1からリーフ1.nへのパケットフローは2つのフローテレメトリホップと見なされます。

次の図は、3-HOPフローテレメトリ相関用のリーフスイッチ - スパインスイッチのトポロジを示しています。



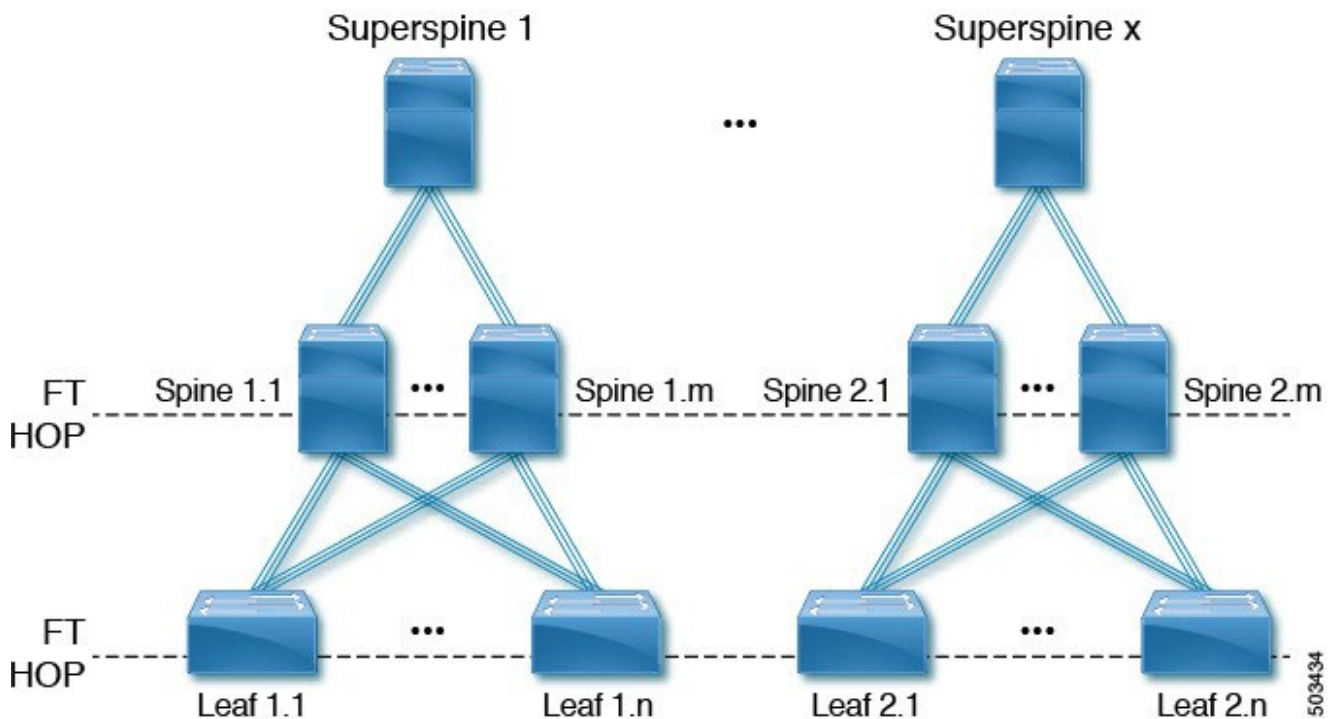
図のすべてのスイッチと交差するフローテレメトリHOPラインは、フローテレメトリデータをエクスポートできるスイッチを表します。例: 2つのフローテレメトリHOPラインがある場合、リーフ1.1からスパイン1.1へ移動し、次にリーフ 1.nに移動するパケットフローは、3つのフローテレメトリホップと見なされます。

次の図は、3-HOPフローテレメトリ相関用のリーフスイッチ - スパインスイッチ - スーパースパインスイッチを示しています。



図のすべてのスイッチと交差するフローテレメトリHOPラインは、フローテレメトリデータをエクスポートできるスイッチを表します。例: リーフ1.1からスーパースパイン-1へ移動し、次にリーフ1.nに移動するパケットフローは、3つのフローテレメトリホップと見なされます。

次の図は、4-HOPフローテレメトリ関連用のリーフスイッチ - スパインスイッチ - スーパースパインスイッチを示しています。



図のすべてのスイッチと交差するフローテレメトリHOPラインは、フローテレメトリデータをエクスポートできるスイッチを表します。例: 2つのフローテレメトリHOPラインがある場合、リーフ1.1からスパイン1.1へ移動し、次にスパイン1.mからリーフ1.nへと移動するパケットフローは、4つのフローテレメトリホップと見なされます。

サポートされるシナリオ

Nexus Dashboard Insights トポロジは、次のシナリオをサポートします。

VXLAN

- リーフスイッチのvPC
- ボーダー スパイン スイッチ
- ボーダーリーフスイッチ
- IRまたはマルチキャストアンダーレイ
- EBGpまたはIBGP
- IPv4アンダーレイ
- IPv4/IPv6 オーバーレイ

レガシー/クラシック LAN

- リーフスイッチのvPC
- IPv4またはIPv6

サポートされるロール

Nexus Dashboard Insights トポロジは、次のロールをサポートします。

VXLAN

- リーフ (現在の) スイッチ
- ボーダースイッチ
- ボーダー スパイン スイッチ
- ボーダー ゲートウェイ スイッチ
- ボーダー ゲートウェイ スパイン スイッチ
- スーパー スパイン ロール
- ボーダー スパイン スイッチ
- ボーダー ゲートウェイ スーパー スパイン スイッチ
- スパインスイッチ

従来の LAN

- アクセススイッチ
- アグリゲーション スイッチ
- エッジルータ スイッチ
- コア ルータ スイッチ

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、これらは、参考資料によって本書に含まれています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジー図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

シスコおよびシスコのロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、<http://www.cisco.com/go/trademarks> を参照してください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.